

---

# 地域密着型金融推進計画の 進捗状況について

(平成24年4月～平成25年3月)

平成25年6月



きらやか銀行

---

# I. 平成24年度地域密着型金融推進計画の基本方針

きらやか銀行は、地域に根ざす金融機関として、地域経済・取引先との共存共栄を目指し、地域密着型金融を推進しております。平成24年度は、より一層地域密着型金融を推進すべく、地域のお客様と「共に“生きる”」を継続し、平成24年度からスタートしました第3次中期経営計画においては、「きらやか銀行らしさ」を追求し、「もっともっと喜ばれる銀行」を目指すべく、「本業支援」「最適提案」を全行的に継続して取り組んでおります。

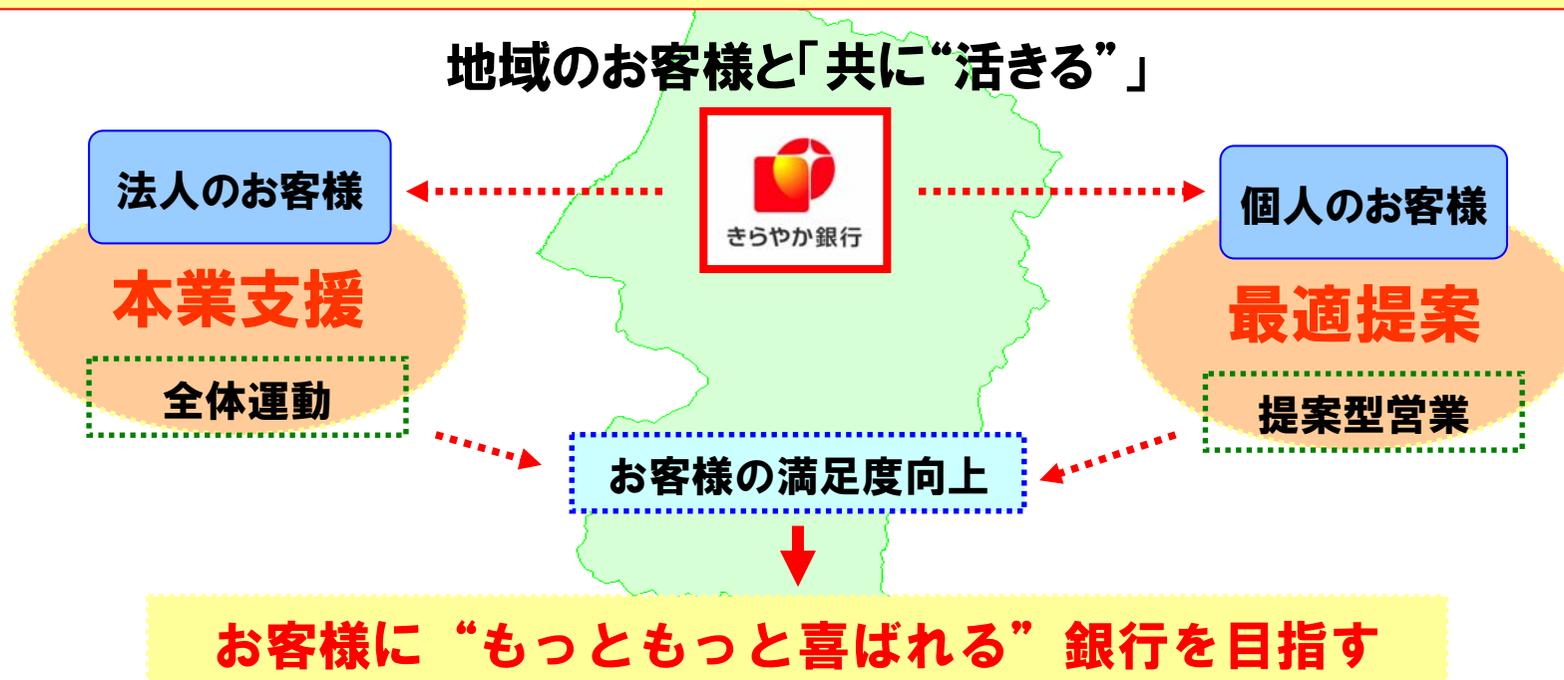
また仙台銀行との経営統合により、東日本大震災からの復興支援、仙山圏一体での地域経済活性化などを更に取り組んでいくことで、地域金融機関としての役割を果たしてまいります。

法人のお客様へ

取引先企業の経営課題を解決することが「お客様の本業支援」であると考えております。「お客様を知る」ことによってできる提案を数多くの企業に対し組織的にかつ継続的に取り組んでおります。

個人のお客様へ

お客様にその時々発生する「ライフイベント」に合わせ、最適なチャネルから最適なタイミングで当行の有する商品、サービスを提供し、喜んでいただきながら生涯取引に繋げております。



## II. 平成24年度取組みの進捗状況

### 1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

#### (1) 創業・新事業支援

創業・新事業支援融資 目標: 20件

創業・新事業支援融資 実績: 39件

取組内容		進捗状況
①	当行独自商品のきらやか起業家ローン「夢キャンパス」、制度融資の山形県商工業振興資金「開業支援資金」「地域活力強化資金」を活用した支援を推進	平成24年度は日本銀行の成長基盤強化を支援するための資金供給の趣旨に対応した当行商品「きらやか成長応援ファンド」等の活用により、計画を大幅に上回る結果となりました。
②	各種ファンド及び当行子会社である「きらやかキャピタル」との連携による支援の継続	平成24年度は「きらやかキャピタル」との連携による実績はありませんでしたが、今後も継続して取組んで参ります。

#### (2) 経営改善支援

経営相談取り組み件数 目標: 1,140件

経営相談取り組み件数 実績: 3,201件

取組内容		進捗状況
①	経営改善支援取組み先の選定・支援、再生計画実行支援	本部と営業店が連携し、取引先企業の金融円滑化対応や本業支援対応により、計画を大きく上回る実績となりました。
②	「本業支援」の実践により、事業ニーズを聞き出し、アクションプランを策定することで、経営課題解決に向けた支援	当行では「本業支援」活動を実践するにあたり、「アクティブリスニング（経営者との会話を通じて、企業の問題点・課題などを聞き出し、共有するためのコミュニケーション活動）」を、組織的且つ継続的に取組んでおり、取引先企業の事業ニーズに適したアクションプランを策定しております。

## II. 平成24年度取組みの進捗状況

### 1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

#### (3) 事業再生支援

事業再生支援件数 目標:40件

事業再生支援件数 実績:79件

取組内容		進捗状況
①	人材を派遣することによる再生計画策定等支援	平成24年度は取引先企業18先に対して、当行より人材を派遣を実施しましたほか、取引先企業15先に対してコンサルティング導入支援を、1先に対して経営改善計画策定支援を実施しております。
②	DES、DDS、DIPファイナンス等の手法を活用した支援	平成24年度は取引先企業1社に対して、DESを活用した支援を実施しております。
③	地域経済活性化支援機構（旧 企業再生支援機構）、中小企業再生支援協議会等の外部機関との連携による支援	地域経済活性化支援機構、中小企業再生支援協議会のほか、整理回収機構・東日本大震災事業者再生支援等との連携により、取引先企業44先に対して支援を実施しております。

#### (4) 事業承継支援

事業承継支援件数 目標:15件

事業承継支援件数 実績:125件

取組内容		進捗状況
①	営業統括部本業支援推進室を中心とした、専担チームによる課題解決に向け、特化した取組みによる支援	平成24年8月に設置した営業統括部本業支援推進室において、情報トレーディング3名、事業コーディネーター7名、人材育成2名の担当者を配置し、本業支援のスピード化を図りました。
②	「本業支援」の取組みの一環としての、全行的な課題解決に向けた支援	平成24年12月に中小企業基盤整備機構東北本部等との連携により、事業承継に関するセミナーの開催しました。

## II. 平成24年度取組みの進捗状況

### 2. 事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

#### (1) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組み

融資取組 目標:230件

融資取組 実績:585件

取組内容		進捗状況
①	CRDスコアリングモデルを活用したビジネスローンの推進	平成24年度におけるCRDスコアリングモデルを活用したビジネスローン（プロパービジネスローン含む）の取扱は541件の実績となりました。
②	中小零細企業向けのプロパービジネスローン等の新商品検討による推進	平成24年9月にプロパービジネスローン「エール」の取扱を開始致しました。取扱件数は103件の実績となっております。
③	無担保私募債の推進	信用保証協会の「特定社債保証制度」を活用した取組みと、プロパーの「銀行保証付私募債」を積極的に活用した結果、平成24年度は31件の取組み実績となりました。
④	「動産評価アドバイザー」の資格取得励行による、ABL推進に向けた行員のスキルアップの実施	特定非営利活動法人 日本動産鑑定が実施している「動産評価アドバイザー認定試験」において、5名が資格取得しております。 なお、平成24年度のABLの取組みは、13件の実績となりました。
⑤	合同での研修会開催による、本部・営業店・保証協会が連携したABLの推進	平成24年5月に、リレーションシップバンキングの推進の一環として、山形県信用保証協会からも参加いただき、ABLの動向について研修会を実施いたしました。研修会には外部講師を招聘し、動産担保の実態と活用について実施しております。

## II. 平成24年度取組みの進捗状況

### 2. 事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

#### (2) 企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組み

取組内容	進捗状況
① 「本業支援」の啓発を行うべく、「戦略的発想」を養うための研修の継続	取引先企業の現状を理解し、事業計画や戦略などを一緒に考えるための研修として、本業支援研修及び個別事例研修を229回実施しております。
② 「本業支援」を実践するための、知識・ソリューションスキルを身につけた「考える行員」の育成	「本業支援」を実践するための人材（考える行員）の育成を目的とした研修として、知識習得セミナーを3回実施しております。 セミナーでは、行員による講義のほか、外部講師として3名の講師を招聘した講義を実施しております。
③ 行員の段階的なスキル向上を図るための、階層別研修の実施	行員が各階層で身につけるべき知識や役割・責任を習得するための研修として、新任者を対象とした階層別研修を1年に1回実施しております。
④ 外部機関へのトレーニー派遣を継続	平成24年度は、地域支援に対応できる人材育成の一環として、1名を長期トレーニー派遣しております。



## II. 平成24年度取組みの進捗状況

### 3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

#### (1) 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み

取組内容	進捗状況
① 山形県中小企業家同友会、山形大学等との産学金連携を強化	<p>平成22年4月、山形県中小企業家同友会及び山形大学、山形県信用金庫協会と連携協力協定を提携以降、地域活性化や人材育成について支援しております。</p>
② 山形県の特産（商品・製品）をプロデュース（県外進出支援・仙山交流活性化） 	<p>山形・宮城の特産品などをお互いに紹介すべく、平成24年10月に仙台市若林区で行われた「ふれあい市」に10社、仙台市太白区で行われた「ながまち交流フェスタ2012」に9社参加し、復興イベントを開催しました。</p> <p>また、平成24年4月に仙台銀行の取引先に対する復興支援と山形・宮城両県の交流を図るため、山形市中心部にある「七日町ほっとなる広場」を会場にて「がんばれ東北！がんばれ宮城！ふれあい市」を開催しております。</p>
③ 金融円滑化への取組みを通じて、地域経済の健全な発展と地域生活の安定を推進	<p>金融円滑化への対応は、取引先企業の経営課題の解決に向けた具体的な提案をしながら、十分時間をかけて経営支援を行っていく方針としており、中小企業支援ネットワークとの連携（1先）や信用保証協会保証制度融資である経営力強化保証制度を利用した取組み（18先）を実施いたしました。</p>
④ きらやかターンアラウンド・パートナーズ(株)による集中的な企業再生支援と、再生支援業務を通じた事業再生スペシャリスト育成による、将来に亘る地域経済の活性化に向けた取組の強化	<p>当行では、事業再生専門子会社であるきらやかターンアラウンド・パートナーズ(株)を設立しており、当行から5名を出向させ、集中的な企業再生支援を実施しております。</p> <p>なお、同子会社に対しては、日本政策投資銀行より人材派遣等を受けており、企業再生に関するノウハウを取り入れております。</p>

## II. 平成24年度取組みの進捗状況

### 3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

#### (2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供

取組内容	進捗状況
① 山形大学等への講師派遣、中学校から大学までを対象に職場体験学習の受入れを継続	毎年「山形大学産学金連携コーディネーター」研修に行員を派遣しております。 平成24年度は山形市内の中学校より生徒5名を職場体験学習として受入れております。
② 経営者セミナー継続開催による取引先企業の情報交換等の機会を提供	平成24年6月に「第3回きらやか経営者セミナー」を開催しました。お取引先企業の多くの経営者の皆様に参加いただきました。
③ 当行各種振興基金等を活用した地域活性化支援を継続 	平成25年3月、きらやか銀行産業振興基金において、「きらやか産業賞」（第24回）、「ベンチャービジネス奨励賞」（第17回）の贈呈を行っております。 また、教育福祉振興基金では、山形県内の小学生からくらしに関する作文を募集し、くらしの文集の発刊や看護学校への研修用のDVD内臓液晶テレビ等を贈呈するなど、積極的な地域活性化支援に取り組んでおります。
④ お客様アンケート調査の継続実施	平成24年7月、「利用者満足度」調査結果について、公表いたしました。個人・法人のお客様それぞれに対して、調査を実施し、その結果を踏まえた主な改善策を掲載しております。
⑤ 「じもとホールディングス」における「じもと復興戦略」及び「じもと経済活性化戦略」を中心とした、仙台銀行との連携による東日本大震災からの復興支援取組強化と“仙山圏”一体での地域経済活性化に向けた取組強化	じもとホールディングスの経営戦略の柱として、震災復興を目的とした「じもと復興戦略」「じもと経済活性化戦略」を掲げており、両行一体となって取組みを強化しております。